

ふくしま尾瀬魅力発信強化(登山道整備ツアー)事業 公募型プロポーザルの質問書に対する回答

質問事項	内容	回答
<p>仕様書 6 業務内容 (1)ア ツアー参加費</p>	<p>「整備にかかる工具や資材(整備箇所周辺の倒木や石、それらを固定する釘やかすがい、土のう袋などを想定)、送迎(オで後述)、ガイド等、参加者全体に係る経費は委託の範囲内とする。」とありますが、資材・工具の内容や、その運搬について費用がいくらになるかが分からなければ、コストが委託費用を上回ってしまう恐れがあります。 これらの試算は、企画書提出前に一社尾瀬登山道整備部と確認しておく必要がある、ということでしょうか？ それとも県から一社尾瀬登山道整備部に対して、あらかじめ調整済みなのでしょうか？ 場合によって、資材や工具を歩荷やヘリで荷揚げすることも考えられますが、その費用も受託費から出すことを想定して見積書を作成する、ということになりますでしょうか？</p>	<p>資材・工具の内容については、6 業務内容(1)エ(ウ)に記載のとおり事前調査後に整備箇所・整備方法を決定しますが、道幅の広くない見晴新道におけるぬかるみ解消のための簡易な地ならし、排水措置を想定していますので、ヘリでの荷揚げが必要になるような資材・工具は想定しておりません。 なお、ツアー参加者による資材の運搬を想定していますので、それらを踏まえた上で概算で算出願います。</p>
	<p>整備にかかる工具や資材(整備箇所周辺の倒木や石、それらを固定する釘やかすがい、土のう袋などを想定)とありますが、工具や資材の調達も事業者で行うという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
<p>仕様書 6 業務内容 (1)エ 登山道整備について</p>	<p>チェーンソーやスコップなどの大型の工具については、周辺の山小屋から借り受けることも可能でしょうか？ あるいは参加者ひとり一人が、山麓から山中に持って運ぶことを想定していますでしょうか？</p> <p>工法については、おそらく「近自然工法」と呼ばれる方法なのかと思いますが、現場に必要な倒木・石などを確保するため、登山道を外れて確保作業することが考えられますが、許諾が得られると考えるとよいのでしょうか？</p>	<p>参加者が持ち運ぶことを想定しています。なお、受託者が山小屋と調整し、許可を得られたのであれば借り受けも可能とします。</p> <p>事前に許認可を受ける必要がありますが、尾瀬内の他の登山道での実績もありますので許諾が得られることが想定されます。</p>